

## 令和3年度第1回札幌市はつらつシニアサポート事業評価委員会 議事録

### 1 開催方法

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、書面形式で開催

### 2 開催期間（評価期間）

令和3年6月7日（月）～6月25日（金）まで

### 3 議題

令和3年度シニアチャレンジ事業申請に伴う審査について（1件）

### 4 参加者

#### (1) 委員（五十音順）

中田 雅美

新田 雅子

福田 菜々

渡辺 恵美子

渡辺 雄二

#### (2) 事務局

保健福祉局高齢保健福祉部長

前

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課長

足立

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課生きがい支援担当係長

阿部

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課高齢福祉係

内潟

### 5 議事の概要（おもな質疑応答の内容は別紙のとおり）

- ・事務局から各委員に対し、申請案件に係る資料（プレゼン資料含む）を配布。
- ・各委員の質問事項を取りまとめ、質問に対する回答を申請団体に確認し、内容を各委員にお知らせ。
- ・上記をもとに、各委員による審査を実施し、審査内容を共有のうえ審議を行った結果、補助金交付が適当との評価がなされた。

### 6 交付決定団体

#### (1) 団体名

北海道カーリンコン協会

#### (2) 事業名

コロナ禍における地域交流の「元気」と「笑顔」を取り戻す事業

## ○ 委員

保険料が 10,000 円ということについて、毎回事業に参加するにあたり行事保険に加入するということであれば、金額が低いように思うがいかがか。また、会員様にご高齢の方が多いため心配なのだが、皆さんボランティア保険に加入しているのか。

## ⇒ 団体

今回の保険料については、体験セミナー（約 50 名）、交流会において競技形式による大会（約 50 名）を想定しているため、各区 100 名×3 区で市社協のボランティア保険の活用を考えている。一人 35 円で 10000 円強を想定している。当協会役員はボランティア保険に加入している。

## ○ 委員

交流会は 4 時間とあるが、1 ゲームにかかる時間はどのくらいなのか（高齢者にとって長丁場にならないか。）

## ⇒ 団体

交流会は 4 時間を見込んでいるが、1 チーム 3 名の対戦となり 1 ゲームの所要時間は約 15 分程度になる。予選はリーグ戦の総当たり、決勝はトーナメント戦でそれぞれ実践すると最低 1 チームは 4 試合ゲームをすることになる。但し、高齢者など年配の人で体調が悪くなった場合などは、交代要員としてスタッフが対応していきたいと考えているので、あくまで楽しんでもらう交流会になればと思っている。

## ○ 委員

これまで意欲的に全道的な取り組みを進めておられる中で、ここで札幌市内での活動を強化される意義をどのように考えているか。いま、札幌市からの助成を受け、札幌市内で実施することの意味を改めてご説明いただきたい。

## ⇒ 団体

これまでの全道的な取り組みは、道社協事業としてカーリンコンが採用された一環として活動させていただいた取り組みが大きかった。また、下川町や平取町、日高町などからの依頼により活動させていただいた。道内での活動は、各関係団体の協力もあり実現できたものであったが、札幌市内においての活動は各老人福祉センターでの出前講座の開催などがあるものの、地元で根差した取り組みは皆無であった。今回の取り組みは、札幌市内での活動の強化ではなく、当協会事業として兼ねてから念願のものであり、協会事業として単独経費では困難な状況だったことから、貴市補助事業の採択を受け、札幌市全市において展開したいと考えている。是非市内全体において、生きがいにも繋がる「カーリンコン」を地元の皆さんに実践してもらうことが社会貢献の一環として意味のある事業と考えている。